



喜連川 優 (KITSUREGAWA Masaru)

東京大学生産技術研究所 教授
国立情報学研究所所長

東京大学工学部卒業、同大学院工学系研究科博士課程修了。
工学博士。

東京大学生産技術研究所第三部講師、助教授を経て、現在、同教授。文部科学官 (2008-2011)、大連理工大学客座教授。学術会議会員。情報学委員会副委員長。国立情報学研究所所長 (2013.4～)、情報処理学会会長 (2013.6～)、地球観測データ統融合連携研究機構長 (2010.4-2014.3)。

データベース工学、並列処理技法、Web マイニング、大規模ストレージ、超大容量地球環境デジタルライブラリ (1 ペタバイト) に関する研究に従事する。

電子情報通信学会データ工学研究専門委員会委員長 (1997-98)、ACM SIGMOD Japan Chapter Chair (1999-02)、情報処理学会理事 (2002-03)、情報処理学会副会長 (2008-09)、日本データベース学会理事、SNIA-J(Storage Networking Industry Association) 顧問、IEEE TCDE Asian Coordinator、ACM SIGMOD Advisory Board Member、VLDB Trustee など学会活動多数。

また、文部科学省特定領域研究「情報爆発 IT 基盤」領域代表 (2005-11)、経済産業省情報大航海プロジェクト顧問 (2007-09)、情報大航海コンソーシアム会長 (2006)、文部科学省リーディングプロジェクトである「先進的なストレージ技術ならびにウェブ解析技術の開発 (2003-07)」、「革新的実行原理に基づく超高性能データベースの開発 (2007-11)」、内閣府最先端研究開発支援プログラム『超巨大データベース時代に向けた最高速データベースエンジンの開発と当該エンジンを核とする戦略的社会サービスの実証・評価』を中心研究者として推進中 (2009.3-2013.3) など、数々の大型プロジェクトに携わる。

電子情報通信学会論文賞 (1992)、日本 IBM 科学賞 (1992)、電子情報通信学会 / 情報処理学会・船井ベストペーパー賞 (2002)、情報処理学会フェロー (2002)、日本データベース学会論文賞 (2004, 2005, 2010)、電子情報通信学会フェロー (2005)、ACM SIGMOD Edgar F. Codd Innovations Award (2009) (アジア初)、電子情報通信学会業績賞 (2010)、PAKDD Distinguished Contributions Award (2010)、情報処理学会功績賞 (2011)、IEEE フェロー (2013)、ACM フェロー (2013)、紫綬褒章 (2013) などの多数の受賞歴。

経済産業省 IT による「情報大航海時代」の情報利用を考える研究会 座長。経済産業省「情報大航海時代」における経済・社会・文化のあり方に関する研究会 座長。高度言語情報融合フォーラム副会長。文部科学官として文科省会議に多数参加。内閣府知財戦略本部委員。